

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康相談事業	保険健康課	243回		充実		継続	新規
事業の概要							
<p>心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、ひいては個々の健康管理に資する。</p>							
平成23年度実績							
1)まちの健康相談室 実施回数(会場):48回(市役所・保健センター・公民館等) 内容:健康に関する相談・健診結果の説明・血圧測定・体重測定・検尿(必要時) 参加者:延べ388人							決算額
							209千円
							実績値
							231回
2)その他の健康相談 歯周疾患健康相談・病態別健康相談・市民健康相談等 実施回数:183回 参加者:延べ2,536人							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>まちの健康相談室は、宇和島・吉田・三間・津島地区で、毎月1回月曜日に開催するとして、定着化を図った。尿検査や体脂肪測定など、付加した内容が健康管理に役だっていると思われる。健診後の結果説明会は健康に関する問題意識をもったの参加が多く、効果的であった。しかし来所者は高齢化しており、固定化の傾向がある。次年度は40歳～64歳に向けて積極的に周知を行う予定である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成24年度予定							
効果的な健康相談の周知 ・健康教育とまちの健康相談室の日程を1枚にし、健診会場等でPRを行う。 ・定例の相談の機会として活用ができるよう、より丁寧に健診結果相談等を行う。							予算額
							256千円
相談の機会を増やす ・がん検診時の健康相談の継続 ・人の多く集まる機会を利用して健康相談を実施する。 ・定例の健康相談以外に、来庁、電話等による相談ができることを引き続き市民に周知する。 ・市民のニーズに合った健康相談を実施する。(出前健康相談)							目標値
							200回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)				
健康教育事業	保険健康課	271回		充実		継続	新規
事業の概要							
<p>生活習慣病の予防等健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。</p>							
平成23年度実績							
	回数	参加延人数		決算額			
	245	10,676		718千円			
1)教育内容				実績値			
・メタボリックシンドロームなどの生活習慣病予防・がん予防・歯周疾患予防・骨粗鬆症予防等				245回			
2)啓発活動				進捗状況			
・「出前講座」の実施・広報「健康づくり通信」掲載・健康づくりロビー展の実施等				4			
事業に対する評価・課題等							
<p>・「ヘルシーウォーキング」参加者と一緒に、ウォーキングマップを使ってのウォーキングを実施。道路の状況に応じて、ペース配分を考えるなどのより実践的なウォーキングができた。</p> <p>・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、団体の目的に合わせて教育内容を検討し、パンフレットや教室の構成等を工夫した。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか				4			
性別による固定的な役割分担等が行われていないか				5			
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか				5			
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか				5			
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか				5			
平成24年度予定							
各種団体等と協働し、新しいウォーキングコース作成				予算額			
				757千円			
				目標値			
				250回			

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
特定保健指導の推進	保険健康課	51.1%	45%	充実		継続		新規
事業の概要								
<p>内臓脂肪型肥満に着目した特定健診の結果から、階層化を行い、生活習慣改善の必要性に応じて「情報提供」、「動機づけ支援」、「積極的支援」に分け、特定保健指導を行うものである。</p> <p>特定保健指導は内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣病を改善することを目的に、「動機づけ支援」、「積極的支援」の対象者と共に、自らの生活習慣を振り返り、生活改善目標を設定し、実践(行動)に取り組むことができるよう、またセルフケア(自己管理)ができるよう支援するものである。</p>								
平成23年度実績								
特定保健指導								決算額
積極的支援 対象者 194名 初回面接実施者 72名 実施率 37.1%								709千円
動機付け支援 対象者 362名 初回面接実施者 155名 実施率 42.8%								実績値
特定保健指導受講者の改善状況								41%
(積極的支援から動機づけ支援・情報提供、動機づけ支援から情報提供になったもの)								進捗状況
平成22年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善者 35名(40.2%)								5
動機付け支援 改善者 58名(30.1%)								
事業に対する評価・課題等								
<p>初回面接の利用率は40.8%と昨年度の50.4%より低下した。</p> <p>50歳代より、40歳代の方が受講率が高い。電話勧奨や面接時間の優遇、日曜日の設定により、受けやすい環境をとっている。</p> <p>野菜のフードモデルを購入し、利用したことで、実際の適正量がよくわかり、食生活改善のきっかけを持つことができた。</p> <p>特定保健指導をきっかけに「自分に対する健康の意識付けを継続することができた。また、食事のバランスがよくなった」など生活改善された方が多数おられた。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成24年度予定								
利用勧奨の電話を継続して行う。								予算額
参加しやすいよう日曜日の設定を継続する。								702千円
特定保健指導の効果を広報等に掲載する。								目標値
喫煙指導のパンフレットを作成し、使用する。								45.0%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康教育事業(ヘルスアップ実践講座)	保険健康課	19回		充実		継続	新規
事業の概要							
体験型健康教育を通して、生活習慣病発症及び重症化の予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る。							
平成23年度実績							
	回数	延人数	内容				決算額
栄養編	9	66	野菜の効果・必要量・摂取量アップの工夫				-
運動編	10	92	正しいウォーキングフォーム・自宅のできる筋トレ				実績値
栄養総集編	2	23	調理実習を通して、野菜をたくさん食べる方法の実践				24回
運動総集編	3	22	ウォーキングマップを活用し、ウォーキングを実践				進捗状況
計	24	203					4
事業に対する評価・課題等							
<p>【栄養編】 ・今年度の試みとして、保健師、栄養士による寸劇を行い、実生活を表現しながら、受講者とやりとりを交わす参加型の講座が好評であった。参加者の健康への意識レベルが高かった。</p> <p>【運動編】 ・今年度の参加者は、友人同士で誘いあって参加するケースがほとんどであり、和やかな雰囲気であった。ウォーキングマップを使って実践することで、歩くペース配分の指導など、より実践的な内容で実施できた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成24年度予定							
好評であった教室を継続実施する。 参加しやすい教室となるよう、休日開催、周知方法等について検討する。							予算額
							-
							目標値
							25回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)	45回		充実		継続	新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成23年度実績							
実施回数 45回。(夜間糖尿病教室4回、調理実習11回含む。) 延べ参加者数691名(入院患者151名、外来患者540名)							決算額
							-
							実績値
							45回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、糖尿病予防に対する意識啓発が図れた。 毎回、参加者の血糖値を測定するとともに、糖尿病またはその予備群の患者を中心として病態の把握や自己管理指導を行った。 糖尿病または糖尿病が原因となって引き起こす疾病についての基礎知識や治療法について、内科医が講義を行うほか、食事、運動、薬物などによる療法に関して、栄養士、理学療法士、薬剤師など各専門分野から糖尿病療養指導士のスタッフが指導を行うことにより、日常的な実践につながる情報を提供した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成24年度予定							
今後も定期的実施。 患者会(パール会)活動を通して、世界糖尿病デー(11/14)のイベントも実施予定。							予算額
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)	12回		充実		継続		新規
事業の概要								
<p>入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。</p>								
平成23年度実績								
実施回数12回 延べ参加者数 141名(入院患者8名、外来患者133名)							決算額	
							実績値	
							12回	
							進捗状況	5
事業に対する評価・課題等								
<p>定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。</p> <p>重篤な心臓病を引き起こす要因となる高血圧や不整脈に関する基礎知識、心臓病を発病した場合の治療法など、毎回テーマに沿って、循環器内科医師または薬剤師による講義を実施するとともに、病態に応じた、または、予防のための食事療法について栄養士が指導を行うことで、日常的な実践に繋がる情報を提供した。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成24年度予定								
月1回実施予定。							予算額	
							目標値	
							月1回	

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[3] 壮年期からの健康づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康相談事業	保険健康課			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>心の健康相談</p> <p>心の健康に関する個別の相談に対し、相談窓口の周知を行い、必要な助言及び情報提供等をを行うことにより、個々の持つ悩み等を軽減していくよう支援することを目的として実施。 相談内容には、受療に当たっての相談や社会復帰のための相談等も含まれ、個々のケースに対応している。</p>							
平成23年度実績							
<p>実施場所 宇和島市役所</p> <p>日程 毎月第1水曜日:年12回 予約制</p> <p>スタッフ 精神科医師相談(精神科スタッフ):年6回 保健師相談:年12回</p> <p>利用状況 実人数 13人 延人数 15人</p> <p>相談内容内訳 精神科疾患(疑い含む):2人 うつ病:9人 妄想:1人 ひきこもり:1人</p> <p>来所者内訳 10代:0人 20代:0人 30代:4人 50代:1人 60代:6人 70代以上:1人</p>							決算額
							265千円
							実績値
							12回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>・利用状況は医師相談が11人、保健師相談は4人であった。年齢別にみると60歳代の相談が5人と最も多く、次いで30歳代の若い世代の相談が4人となっている。</p> <p>・相談内容では、うつ傾向やうつ治療中の相談が9人と最も多く、自殺予防の観点からも、引き続き「心の健康相談」を窓口として、必要な方に専門医の受診につながるよう、支援していく必要があると考える。</p> <p>・医療機関の直接受診は抵抗があると感じる方が、心の健康相談で受診を勧められ、専門医への受診に繋がることができたケースが5人あり、受診への足がかりになっている。</p> <p>しかし、医療が必要と考えられるケースで、受診できていない人もあり、家族と地区担当保健師が連携を取りながら、訪問等で継続的に支援していく必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成24年度予定							
<p>地域自殺対策緊急強化事業の「対面型相談支援事業」として自殺予防の視点を強化し取り組む</p> <p>1)対面型相談支援事業の実施・・・速やかに問題解決のための医療機関、各種窓口へ繋ぐ。</p> <p>2)相談窓口の周知を強化・・・周知用パンフレットの作成・配布</p> <p>・各種相談窓口にちらし等を設置し、フォローが必要なケースに配布する。</p> <p>・相談窓口一覧を明記したパンフレットを作成し、全戸配布する。</p> <p>・各保健事業や広報、市ホームページを活用し周知強化を図る。</p> <p>3)人材養成講座の実施...職場のメンタルヘルス(市職員対象)、保健師のスキルアップ研修により相談対応能力の向上を図る。</p>							予算額
							208千円
							目標値
							年12回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
心の健康づくり教育事業	保険健康課			充実		継続	新規

事業の概要
市民に広く心の健康づくりに関する正しい知識の普及を図ることにより、心の病気の予防と心の健康増進に資することを目的として実施する。平成23年度は地域自殺対策緊急強化事業を活用し、従来の健康教育の他に専門医による心の健康づくり講演会を開催した。

平成23年度実績

心の健康づくり講演会 日時：平成23年11月26日(土) 午後1時30分～4時 場所：市役所2階大会議室(大ホール) 講師：国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター長 大野 裕 先生 テーマ：「気づこう、つながろう、見守ろう！みんなですすめる心の健康づくり」 参加者：320人 心の健康づくり健康教育・・・年間計画に基づき、各地区で健康教育を実施							決算額
							1,324千円
							実績値
							742人
							進捗状況
							5

地区	開催回数	延人数	年齢別内訳			対象者	内容
			～39歳	40～64歳	65歳以上		
宇和島	11	174	10	61	103	民生委員協議会、食生活改善推進協議会、子育てサークル参加者、男性の料理教室生、一般市民等	心の健康づくり、ストレスについて、心の健康と飲酒、丈夫な心と体をつくるために、心のサインに気づこう・つながろう・見守ろう
吉田	6	74	8	25	41	母子愛育会、食生活改善推進協議会、健診結果説明会来所者等	心の健康
三間	8	104	24	34	46	民生委員、食生活改善推進協議会、子育てサークル参加者、健康相談来所者、特殊栽培米生産組合等	心の健康、子どもの心に向き合う
津島	7	70	1	20	49	食生活改善推進協議会、男性の料理教室生、体操教室参加者、一般市民等	心の健康
計	32	422	43	140	239		

事業に対する評価・課題等

心の健康づくり講演会
認知度が高い講師だったこと、本庁・支所が関係機関等と連携し周知に努めたことで、多くの参加があった。内容は、自分自身や家族等の周囲の人、地域でできることについてわかりやすく説明され、アンケート結果でも理解度が高く、日々の生活に生かせる内容だったとの回答が多かった。
心の健康づくり健康教育
今年度は男性の料理教室等で男性にうつ予防等について啓発することができた。男性の参加者からは、うつ病の体験談や専門医についての質問もあり、心の問題が身近なものであることや相談窓口・医療に関する情報提供の必要性を感じた。また、海岸地区の飲酒と心の健康問題など、地区特性に即した教育の内容を工夫した。今後は、アルコール問題の現状把握を含め、生活習慣改善のためにも、男性が集まる場や団体への働きかけが必要と考える。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成24年度予定

1)自殺予防の視点を強化した啓発活動の実施 講演会の継続開催(市中央) 一般市民向け普及啓発用パンフレットの作成・・・広報紙とともに全戸配布	予算額
2)地域に出向いた教育により知識の普及・浸透を図る。 新たな関係団体との連携を強化する 年間計画に基づいた健康教育の実施 出前講座の周知拡大及び内容の充実・・・広報、ホームページ掲載により、職域への教育機会を検討していく。 学校(養護教諭等)と連携し、心の健康づくり教育の充実を図る。	1,863千円
	目標値
	600人

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康教育事業	保険健康課						
事業の概要							
<p>体験型健康教育を通して、生活習慣病発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る。</p>							
平成23年度実績							
<p>成人における健康に関する健康教育の全てを整理した。 特定健康診査の結果から、その必要性のある方や健康づくりに関心のある方を対象に、より実践的な健康教育として計画・実施した。</p>							決算額
							-
							実績値
							237回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>・男性も参加できるよう、宇和島地区では土日の休日に開催したが、男性の参加者は少なかった。女性は友人等と一緒に参加する傾向があり、健康教育への男性の参加を確保することは容易でないと考える。 各種検診の場を利用するなど、教育の機会の確保に努めたい。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成24年度予定							
平成23年度同様に、あらゆる場を想定した健康教育の場を確保する。 休日の開催など、参加しやすい健康教育を計画する。							予算額
							-
							目標値
							250回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康教育事業	保険健康課	0回		充実		継続	新規
事業の概要							
<p>生活習慣病の予防及びその他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。 特に、若くからの教育が重要と考えられる「喫煙及び飲酒」に関する教育を実施する。</p>							
平成23年度実績							
出前講座「楽らく卒煙講座」：実施なし							決算額
慢性閉塞性肺疾患(COPD)の予防:肺がんCT検診受診者、事業所へCOPD予防に関する健康教育の実施:15回(1,022件)							-
喫煙習慣のある妊婦と家族へ、喫煙による胎児への影響と禁煙の方法をパンフレットで情報提供:522名							1,872人
高校生対象の「ひとり暮らしサポート講座」等で、禁煙教育を充実:328名							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の禁煙を勧めるため、母子健康手帳発行時に禁煙指導を実施。 ・妊婦自身も喫煙しているケースもあり、禁煙意欲のある人への積極的な支援が必要 ・高校生への禁煙教育だけでなく、学童期からの禁煙対策が重要であるため、学校等と連携し、知識の普及に努める。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成24年度予定							
平成23年度と同様に喫煙・飲酒に対する早期教育に取り組む。							予算額
「禁煙したい」と考える人に個別のサポートができることを周知し、個別支援を実施							-
依頼の多い講座(出前)講座の等の充実を図り、継続実施する。							目標値
							2,000人

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	83%	100%	充実		継続		新規
事業の概要								
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。 「心身ともに健康な子」の育成。								
平成23年度実績								
喫煙や飲酒について、いろいろな機会をとらえて指導した。 校舎敷地内喫煙禁止の徹底を図った。								決算額
								実績値
								87%
								進捗状況
4								
事業に対する評価・課題等								
児童は、喫煙、飲酒の健康被害についての知識を深めることができた。 飲酒・喫煙・シンナーの吸引が成長を妨げる理解が深まった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成24年度予定								
保護者へ、受動喫煙防止について呼びかけを行う。 喫煙、飲酒の健康被害について「保健」「特別活動」に位置づけ授業で指導する。								予算額
								目標値
								100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課	26館	30館	充実		継続		新規
事業の概要								
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を目指す。								
平成23年度実績								
4館増え、合計30館。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							30館	
							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
市が管理している公民館は、市の方針として実施できるが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成24年度予定								
平成23年度中に、公民館内禁煙目標30館を達成した。今後は、館内だけでなく施設内禁煙を目指したい。							予算額	
							0千円	
							目標値	
							-	

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
敷地内禁煙の実施(施設内禁煙からの充実)	病院局	2施設	2施設	充実		継続		新規
事業の概要								
<p>受動喫煙の防止対策を図るため、施設内の禁煙だけでなく、敷地内における全面禁煙を目指すもの。平成23年1月より津島病院が施設内禁煙を実施し、3病院すべての敷地内禁煙を実現した。</p>								
平成23年度実績								
<p>全市立病院において敷地内禁煙を実施。 市立宇和島病院心臓血管外科及び津島病院内科において、禁煙外来を実施している。 宇和島病院: H23年度患者数45人、禁煙治療終了者33人、禁煙成功者数24人 津島病院: H23年度患者数12人、禁煙治療終了者11人、禁煙成功者8人</p>								決算額
								実績値
								3施設
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
<p>全病院において敷地内禁煙が達成されたため、今後は禁煙外来の推進を図り、市立宇和島病院及び市立津島病院において禁煙外来を実施している。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成24年度予定								
敷地内禁煙の継続実施。禁煙外来の推進。								予算額
								目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
喫煙室(入所者向け)の設置	病院局 (介護老人 保健施設)						
事業の概要							
受動喫煙防止対策を図るため、入所者用の喫煙室を設置するもの。							
平成23年度実績							
2施設とも、入所者のみを対象とした既存の喫煙室を継続使用。							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
喫煙室を利用する際に、マナーが守られないケースがある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成24年度予定							
喫煙室に於ける通所利用者と入所者の喫煙マナーの指導。(受動喫煙防止と火災予防の観点から)							予算額
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)				
母親学級・両親学級	保険健康課	5コース		充実		継続	新規

事業の概要
 妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。

平成23年度実績

【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) 【マタニティスクール】 宇和島市に居住地を有する妊婦 【パパママスクール・マタニティクッキング】 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所) 宇和島保健センター (回数) パパママ:年5回(日曜日3回・夜間2回) マタニティ・クッキング:年3回(クッキング日曜開催2回)				決算額
				9千円
				実績値
				マタニティ3回 クッキング2回
				進捗状況
				4
(内容)				
	パパママスクール	マタニティスクール	マタニティクッキング	
内 容	自己紹介	自己紹介	妊娠中の栄養に	
	妊娠中と産後のからだの	妊娠中の生活	についての講義	
	変化	妊娠中の歯の手入れ	調理実習	
	お父さんの妊婦体験	出産への心がまえ	試食	
	赤ちゃんのお風呂の入	座談会		
	れ方(沐浴実習)と準備物品			
	家族計画について			
従事者	保健師	保健師	栄養士・保健師	

事業に対する評価・課題等
 ・参加者の少ない三回開催のパパママスクールは中止とし、宇和島保健センターで夜間開催のスクールを実施した。参加者が予定日に応じて参加日を選択でき、利用しやすかった。また、参加者の人数がバラけたことで、指導する側も個別のフォローができるようになった。
 ・参加者は初産が多いが、参加することで、不安の軽減にもつながっており、教室に対する満足度も高い。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成24年度予定

・各スクールで回数、参加人数等相違あり、今後の教室の持ち方や内容の検討を行う。	予算額
	126千円
	目標値
	-

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
妊産婦相談	保険健康課	48回		充実		継続		新規
事業の概要								
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。								
平成23年度実績								
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦		定例相談		妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	決算額
(場所・回数) 〔定例妊産婦相談〕 宇和島保健センター、吉田公民館 三間保健福祉センター、津島保健センター 各12回/年 *育児相談と同時開催				宇和島地区	12	9	16	
				吉田地区	12	2	4	実績値
				三間地区	12	6	16	
				津島地区	12	1	2	進捗状況
				計	48	18	38	
				産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	5
				宇和島地区	12	35	58	
				吉田地区	12	2	10	48回
				三間地区	12	10	16	
				津島地区	12	1	2	5
				計	48	48	86	
(内容) 個々の妊産婦に応じた相談		随時相談						
(従事者) 保健師・栄養士		人数		人数				
		妊婦	産婦	来所等	電話相談	来所等	電話相談	
		全地区	全地区	40	20	88	18	
事業に対する評価・課題等								
・定例日の相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。 ・妊婦の相談は少ないが、随時訪問や電話相談で実施している。 ・赤ちゃん訪問時のアンケートによると産後うつリスクが高い人は26.0%と年々増加傾向であり、相談や訪問などで継続して関わっている。 妊娠中から気軽に相談できる場として、今後も周知していく。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成24年度予定								
・母子健康手帳交付時やマタニティスクール等で初産婦に妊婦相談の利用をすすめる。								予算額
								0千円
								目標値
								48回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																																																
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規																																																														
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	82.3%	14回/人 (100%)	充実		継続		新規																																																												
事業の概要																																																																				
母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。																																																																				
平成23年度実績																																																																				
<p>・平成20年度から、妊娠期を通して公費負担回数を5回に加えて9回計14回(一人当たり公費負担59,560円)に拡充して実施、継続。 ・妊婦一般健康診査受診票の5回分と9回分を母子健康手帳と同時に交付、綴りの中に利用の目安(一覧表)を添付し適切な受診、利用を勧めた。 ・県外里帰り妊婦に対する妊婦健診の費用助成についても、健診受診票交付時に周知を確実にし、費用助成の手続きを実施した。</p>					9枚綴り分			決算額																																																												
5枚綴り分				交付数	受診数	受診率(%)	27,103千円																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付数</th> <th>受診数 (償還払込)</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>527</td><td>509</td><td>96.6%</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>532</td><td>385</td><td>72.4%</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>532</td><td>500</td><td>94.0%</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>533</td><td>465</td><td>87.2%</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>536</td><td>422</td><td>78.7%</td></tr> </tbody> </table>			交付数	受診数 (償還払込)	受診率(%)	1回目		527	509	96.6%	2回目	532	385	72.4%	3回目	532	500	94.0%	4回目	533	465	87.2%	5回目	536	422	78.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付数</th> <th>受診数</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>531</td><td>521</td><td>98.1%</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>532</td><td>524</td><td>98.5%</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>533</td><td>503</td><td>94.4%</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>533</td><td>489</td><td>91.7%</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>535</td><td>471</td><td>88.0%</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>536</td><td>454</td><td>84.7%</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>536</td><td>405</td><td>75.6%</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>536</td><td>317</td><td>59.1%</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>536</td><td>220</td><td>41.0%</td></tr> </tbody> </table>			交付数	受診数	受診率(%)	1回目	531	521	98.1%	2回目	532	524	98.5%	3回目	533	503	94.4%	4回目	533	489	91.7%	5回目	535	471	88.0%	6回目	536	454	84.7%	7回目	536	405	75.6%	8回目	536	317	59.1%	9回目	536	220	41.0%
	交付数	受診数 (償還払込)	受診率(%)																																																																	
1回目	527	509	96.6%																																																																	
2回目	532	385	72.4%																																																																	
3回目	532	500	94.0%																																																																	
4回目	533	465	87.2%																																																																	
5回目	536	422	78.7%																																																																	
	交付数	受診数	受診率(%)																																																																	
1回目	531	521	98.1%																																																																	
2回目	532	524	98.5%																																																																	
3回目	533	503	94.4%																																																																	
4回目	533	489	91.7%																																																																	
5回目	535	471	88.0%																																																																	
6回目	536	454	84.7%																																																																	
7回目	536	405	75.6%																																																																	
8回目	536	317	59.1%																																																																	
9回目	536	220	41.0%																																																																	
				98%																																																																
事業に対する評価・課題等																																																																				
<p>・定期的に妊婦健診を受診している人は98.2%で、経済的な負担を減らすことは、妊娠期の健康管理に良い影響を及ぼしている。 ・前年度同様、5回分と9回分(拡充分)受診票交付した。7回目以降は出産による未使用の人があるため受診率は低くなっている。 ・国の補助事業で継続については担保できない状況であるが、妊娠期の健康管理は重要であり、14回の健診助成を維持し、健診結果のフォロー等についても確実にを行う。</p>																																																																				
男女共同参画の視点での評価																																																																				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-																																																													
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-																																																													
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-																																																													
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-																																																													
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-																																																													
平成24年度予定																																																																				
<p>・H23年度同様に5回分、9回分(基金継続)の受診票を交付、適切な時期の健診を受診するよう勧奨、妊娠期の健康管理に役立てる。 ・健診内容については、県下統一し内容の充実を図った。HIV抗体検査、風疹ウイルス抗体検査、性器クラミジア検査、B型溶血性レンサ球菌(GBS)、超音波検査(2回)を導入、1人当たり公費負担額78,090円を助成する。 ・健診結果からフォローとなった妊婦については、確実に支援する。</p>							予算額																																																													
							44,354千円																																																													
							目標値																																																													
							100%																																																													

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
母親学級・両親学級	保険健康課	5コース		充実		継続	新規

事業の概要
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。

平成23年度実績

【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) 〔マタニティスクール〕 宇和島市に居住地を有する妊婦 〔パパママスクール・マタニティクッキング〕 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所) 宇和島保健センター (回数) パパママ:年5回(日曜日3回・夜間2回) マタニティ・クッキング:年3回(クッキング日曜開催2回) (内容)				決算額
				9千円
内 容	パパママスクール	マタニティスクール	マタニティクッキング	実績値 パパママ5回 マタニティ3回 クッキング3回
	自己紹介	自己紹介	妊娠中の栄養に	
	妊娠中と産後のからだの 変化	妊娠中の生活	についての講義	
	お父さんの妊婦体験	妊娠中の歯の手入れ	調理実習	
	赤ちゃんのお風呂の入 れ方(沐浴実習)と準備物品	出産への心がまえ	試食	
	家族計画について	座談会		
従事者	保健師	保健師	栄養士・保健師	進捗状況
	マタニティ スクール	マタニティクッキング 全数	パパママスクール 全数	4
宇和島地区	14	12	87	
		(再掲)夫	(再掲)夫	
		3	42	

事業に対する評価・課題等

・受講率が低いため、母子健康手帳交付時に受講勧奨する。特に、初産婦には勧める。
・参加者の満足度は高く、夫の家事育児への協力の一助となっている。また妊婦にとっても不安の軽減につながっている。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成24年度予定

・パパママスクールは参加者が多いが、マタニティスクール・クッキングは参加者が少ない。夫婦での参加の方が参加しやすいという意見もあり、今後の教室の持ち方・内容等の検討を行う。	予算額
	126千円
	目標値
	-

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
妊産婦相談	保険健康課	48回		充実		継続	新規

事業の概要

妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。

平成23年度実績						
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦	定例相談	妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	決算額
(場所・回数) 〔定例妊産婦相談〕 宇和島保健センター、吉田公民館 三間保健福祉センター、津島保健センター 各12回/年 * 育児相談と同時開催		宇和島地区	12	9	16	
		吉田地区	12	2	4	実績値
		三間地区	12	6	16	
		津島地区	12	1	2	進捗状況
		計	48	18	38	
(内容) 個々の妊産婦に応じた相談	随時相談	産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	
(従事者) 保健師・栄養士		宇和島地区	12	35	58	
		吉田地区	12	2	10	
		三間地区	12	10	16	
		津島地区	12	1	2	
		計	48	48	86	

妊婦	人数		産婦	人数	
	来所等	電話相談		来所等	電話相談
全地区	40	20	全地区	88	18

事業に対する評価・課題等

・定例日の相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。
 ・妊婦の相談は少ないが、随時訪問や電話相談で実施している。
 ・赤ちゃん訪問時のアンケートによると産後うつリスクが高い人は26.0%と年々増加傾向であり、相談や訪問などで継続して関わっている。
 妊娠中から気軽に相談できる場として、今後も周知していく。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	

平成24年度予定	
・母子健康手帳交付時やマタニティスクール等で初産婦に妊婦相談の利用をすすめる。	予算額
	0千円
	目標値
	48回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
母子健康手帳の交付事業	保険健康課	543人		充実		継続	新規
事業の概要							
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。							
平成23年度実績							
(対象) 宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦	(場所) 本庁及び支所窓口にて交付	(内容) 母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明	(従事者) 保健師		妊娠届出数	初産婦数	決算額
				宇和島地区	428	185	94千円
				吉田地区	45	20	実績値
				三間地区	22	5	522人
				津島地区	27	3	進捗状況
				計	522	213	2
事業に対する評価・課題等							
<p>・妊娠、出産、育児に関して不安のある妊婦は減少傾向にあるが、今後も不安内容を把握し、ニーズにあった情報提供や対策が必要である。</p> <p>・妊娠中の喫煙率・同居家族の喫煙率は今年度減少したが、未だ同居家族の喫煙率は44.7%と高値のため、今後も胎児や母体への影響を伝え、より一層禁煙を勧める必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成24年度予定							
<p>・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族には、母子健康手帳交付時に胎児や母体への影響についての情報提供・パンフレットの配布を行い禁煙を勧めていく。</p> <p>・平成24年度から母子健康手帳の改正が行われたため、改正点について交付時に伝えていく。</p> <p>特に便色カードは、胆道閉鎖症等の疾患の早期発見を目的としており、活用を図る。</p>							予算額
							91千円
							目標値

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
安産教室	病院局 (宇和島病院)	35回		充実		継続		新規
事業の概要								
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。								
平成23年度実績								
毎月第1、第3、第4水曜日に実施。(第1水曜日は栄養指導も実施)							決算額	
[栄養指導分]・医師、助産師による指導、相談等に加え、栄養指導を実施 実施回数 11回 延べ参加者数 56名(外来患者)							実績値	
							34回	
[一般分]・医師、助産師による指導、相談等 実施回数 23回 延べ参加者数 314名							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
定期的に開催しており、また該当者には検診時に案内していることから、初産の方でも気軽に参加することができる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成24年度予定								
引き続き月3回程度実施予定。							予算額	
							目標値	
							月3回	

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
育児学級	病院局 (宇和島病院)	12回		充実		継続		新規
事業の概要								
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。								
平成23年度実績								
毎月第2水曜日に実施。 計画回数 12回 延べ参加者数 0名								決算額
								実績値
								12回
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
定期的に開催を予定しており、また該当者には、検診時に案内しているが、参加者がいない。今後も継続し参加を呼びかけていく。								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成24年度予定								
引き続き月1回程度実施予定。								予算額
								目標値
								月1回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
カンガルー学級(母乳育児支援学級)	病院局 (吉田病院)			充実		継続		新規
事業の概要								
母乳育児についての相談、座談会を実施するもの。								
平成23年度実績								
平成19年度は2か月に1回実施していたが、20年度以降は実施していない。								決算額
								実績値
								0
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
常勤産婦人科医不在(平成21年度分娩件数...0件) 助産師の不足 上記により、当学級は現在開催していない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成24年度予定								
開催予定なし。								予算額
								目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[8] 生涯スポーツの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	廃止	新規
総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課 [スポ振興]			充実			
事業の概要							
年齢や耐力に応じた様々な運動やスポーツに、「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康維持・増進を目指す総合型スポーツクラブの宇和島AITANスポーツクラブを助長しようとするものである。							
平成23年度実績							
平成21年度より、愛媛女子短期大学が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。 (平成21年度 廃止)							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
なし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成24年度予定							
平成21年度 廃止							予算額
							-
							目標値
							-

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV / エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
HIV / エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数* (確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。</p>							
平成23年度実績							
<p>愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。</p> <p>また、ひとり暮らしサポート講座【体験学習型】(希望する高校と連携して公民館で実施)及び【出前講座】(希望する高校に向向いて実施)において、ひとり立ち前の高校3年生に対し、HIV/エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。</p>							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>県内の患者・感染者の発生は、平成12年以降年間6件程度で推移し、平成19年には過去最高の11件が報告された。平成22年、23年は6件の報告があり、平成24年は、5月23日現在で既に3件の報告があるという状況から、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。</p> <p>市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続き協力体制を継続するとともに、高校生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成24年度予定							
<p>・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。</p> <p>・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育、及び他の学年の高校生、中学生など各校の依頼により学校に向向いて健康教育を実施。</p>							予算額
							0千円
							目標値
							-

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV / エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)				
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	79%	100%	充実		継続	新規
事業の概要							
<p>HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。 性に関する指導の充実。 「心身ともに健康な子」の育成。 学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。</p>							
平成23年度実績							
<p>保健領域において発達段階に応じた指導を行った。 年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。 人権教育の視点では、「一人一人を尊重し、あらゆる偏見や差別は許されない」児童の育成に努めた。</p>							決算額
							実績値
							84%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>正しい知識を学ぶことで、エイズや性感染症に対する認識が深まった。 保護者への啓発や連携を強めていく必要がある。 同学年の児童でも発達に差があり、個に応じた指導が難しい。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成24年度予定							
<p>HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及を継続する。 性に関する指導の充実させる。 保健便り、学級通信等を通じて、保護者に啓発してゆく。 性に対する正しい知識や認識を持ち、自他の性や命を大切にすることを性教育を通して養う。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[2] 発達段階に応じた生命と人権を大切にしている性教育の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)				
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	充実		継続	新規
事業の概要							
<p>生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切に、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。</p>							
平成23年度実績							
<p>生徒、児童の実態に応じた基本的な生活習慣の定着を図った。 生命誕生の仕組みを知り、一人一人かけがえのない存在であることを理解させるよう努めた。</p>							決算額
							実績値
							86%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>学習したことが、普段の生活の中で実践できるようにしていくことを心掛けて指導に当たった。 家庭と連携した性に関する指導の必要性を感じた。 発達段階に応じた指導を実施しているが、家庭環境や個人差もあり一律の指導は難しい。 過度な情報の中から正しいものを判断する力を身に付けさせる必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成24年度予定							
<p>各学年、各教科で、それぞれの学年に合わせた目標を設定する。 性に関する指導を年間指導計画の中に位置付け、各学年の発達段階に応じた指導を実施する。 養護教諭と担任による授業や、保健集会を計画的に実施する。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)				
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法 H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	18.2%	65%	充実		継続	新規

事業の概要

糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とし、内臓脂肪症候群の該当者及び予備群を減少させるために行う特定保健指導を要する者を、的確に抽出するため健診を実施する。

平成23年度実績

	健診区分	回数	対象者	受診者数(人)		計(人)	受診率	決算額
				該当者	非該当者			
特定健診	集団	57	21,344	2753	140	3,755	16.8%	27,271千円
	個別			838	24			実績値
後期高齢者健診	集団	57	15,380	505	0	531	3.5%	16.8%
	個別			26	0			進捗状況
その他の健診	集団	57		7		8		2
	個別			1				

事業に対する評価・課題等

昨年に比べ、受診率が低下した。色々な方法で受診勧奨に努めてはいるが、健診の重要性を伝えきれていない。健診対象者の中には、既に治療・経過観察中の者も多い。個別医療機関の協力を得て、医療下にある者への健診受診にも力を入れる必要がある。
また、例年通り、健診に対する意識が低い若い年代に対し、生活習慣病予防の大切さを伝えていく必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成24年度予定

特定健診についての周知徹底 ・保健師による直接的アプローチ(地区に応じた受診啓発活動) ・健診対象初年度となる40歳の自己負担を無料とし、個別通知する。 ・事業主健診等受診者へもアプローチし、市の保健事業を広報する。 魅力ある特定健診の実施 ・がん検診とのセット健診や休日健診を設け、受診機会を広げる。 ・愛媛県の独自項目として、腎機能検査を追加実施する。	予算額
	37,878千円
	目標値
	65.0%

平成23年度実績の進捗状況

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 .保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	10.8%		充実		継続	新規

事業の概要
<p>がんが市民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の充実を図る。このために必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に努めることにより、がん死亡率を減少させる。</p> <p><対象> 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者 子宮がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:40歳以上の女性 (乳房超音波検診:30歳代の女性) 前立腺がん検診:40歳以上の男性</p>

平成23年度実績							
	受診者(人)	受診率(%)		回数		決算額	
胃がん	2,628	7.8	胃がん	58	乳房超音波検診 71人(2回)	53,453千円	
肺CTがん	972	2.9	肺CTがん	14		実績値	
肺CRがん	2,950	8.7	肺CRがん	51		12%	
大腸がん	4,020	11.9	大腸がん	71		進捗状況	
前立腺がん	1,450	11.0	前立腺がん	57		4	
子宮頸がん	2,910	19.1	子宮頸がん	41			
乳がん	3,126	22.0	乳がん	43			

事業に対する評価・課題等
<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診については受診者が増加した。 ・子宮頸がん・乳がんの無料クーポン券やピンクリボンの普及活動により、検診が身近になったと考える。 ・平成23年度は、試行的に乳房超音波検診を実施した。対象者は30歳代の女性とし、若年層の乳がん早期発見の機会とした。 ・その他の検診の受診数は、横ばいか若干の減数となった。特定健診等も同様であり、今後も積極的な勧奨が必要である。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成24年度予定	
年度末年齢40歳の方の胃・肺CR・大腸がん検診の自己負担無料を継続する。 受診しやすい検診体制の確保 ・1日で全てのがん検診を受けられる日の設定。 ・地区の事情に応じた日程の設定。休日を含む全曜日の設定。 がん対策推進員(愛媛県が育成)へ勸奨協力を依頼する。 30歳代を対象とした乳房超音波検診の定例実施。 託児付き子宮頸がん検診、乳房超音波検診の増設。	予算額 56,000千円 目標値 50%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 .保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	73自治会	50自治会	充実		継続		新規
事業の概要								
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。								
平成23年度実績								
集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 73自治会を対象に、48回実施。出席者数847人。								決算額
								実績値
								73自治会
								進捗状況
5								
事業に対する評価・課題等								
地域住民に大変好評で、これからの地域医療及び僻地の自治体病院経営を考える上で重要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成24年度予定								
昨年と同様に、各自治会で医療懇談会を開催していく。								予算額
								目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。</p> <p>専門的ながん医療の提供を行う。 地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成23年度実績							
<p>がん患者とその家族を対象に「がんサロン」(通称「さくらサロン」)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 1,245件 電話相談 3,712件 年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 拠点病院として「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の均てん化を図った。</p>							決算額
							12,093千円
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>「さくらサロン」の開設によって、体験された方にしか分からない胸の内が話せたり、体験された方同士、ご家族同士で話す中で、「辛いのは自分一人ではない」と思っていただけの輪が広がっている。 連携の標準化と質の評価方法の確立として、連携を担う人材の育成と職能の確立及び治療成績と療養の質の評価尺度が必要である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成24年度予定							
<p>在宅がん医療を進めるためにも、がん医療の標準化・均てん化に力を入れる。 がん地域連携クリティカルパスのアウトカムを精査し、地域完結型医療の体制を整える。 ドナベディアンモデルの考え方を導入し、指標や目的仮説の妥当性を検討し、系統的な評価指標を作る。</p>							予算額
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。</p>							
平成23年度実績							
<p>新病院の開院に伴って施設面でも改善され、ドックエリアには、2日ドック用にバス・トイレ付きの個室8室を完備するとともに、専用の内科診察室、検査の合間や食事の際に利用可能なラウンジを設け、23年度からは2日ドックの利用者は院内レストランで食事を取ることができるなど、受診者の利便性・快適性も向上している。また、2日ドック対象者については、個別に健康管理指導を行っている。</p> <p>【ドック受診者】 1日ドック：986名 2日ドック：579名 脳ドック内数：96名 受診者数計：1,661名(男性 836名、女性 825名)</p>							決算額
							-
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>ドック最終日に集団指導を実施し、個人個人にあった健康管理に役立っている。 各種検査や診察を通常の外来診療に組み込んで実施しているため、人員体制、設備的な側面から1日あたりの受け入れ人数を増員できない現状がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成24年度予定							
継続実施							予算額
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	12.4%		充実		継続		新規
事業の概要								
<p>がんが市民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の充実を図る。このために必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に努めることにより、がん死亡率を減少させる。</p> <p><対象> 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者 子宮がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:40歳以上の女性 (乳房超音波検診:30歳代の女性) 前立腺がん検診:40歳以上の男性</p>								
平成23年度実績								
		受診者(人)	受診率(%)		回数			決算額
		胃がん	2,628	7.8	胃がん	58		-
		肺CTがん	972	2.9	肺CTがん	14		
		肺CRがん	2,950	8.7	肺CRがん	51		実績値
		大腸がん	4,020	11.9	大腸がん	71		12%
		前立腺がん	1,450	11.0	前立腺がん	57		進捗状況
		子宮頸がん	2,910	19.1	子宮頸がん	41	乳房超音波検診 71人(2回)	4
		乳がん	3,126	22.0	乳がん	43		
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診については受診者が増加した。 ・子宮頸がん・乳がんの無料クーポン券やピンクリボンの普及活動により、検診が身近になったと考える。 ・試行的に乳房超音波検診を実施した。対象者は30歳代の女性とし、若年層の乳がん早期発見の機会とした。 ・その他の検診の受診数は、横ばいか若干の減数となった。特定健診等も同様であり、今後も積極的な勧奨が必要である。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成24年度予定								
年度末年齢40歳の方の胃・肺CR・大腸がん検診の自己負担無料を継続する。 受診しやすい検診体制の確保 ・1日で全てのがん検診を受けられる日の設定。 ・地区の事情に応じた日程の設定。休日を含む全曜日の設定。 がん対策推進員(愛媛県が育成)へ勸奨協力を依頼する。 30歳代を対象とした乳房超音波検診の定例実施。 託児付き子宮頸がん検診、乳房超音波検診の増設。							予算額	
							目標値	
							50%	

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。</p> <p>専門的ながん医療の提供を行う。 地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成23年度実績							
<p>がん患者とその家族を対象に「がんサロン」(通称「さくらサロン」)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 1,245件 電話相談 3,712件 年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 拠点病院として「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の均てん化を図った。</p>							決算額
							12,093千円
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>「さくらサロン」の開設によって、体験された方にしか分からない胸の内が話せたり、体験された方同士、ご家族同士で話す中で、「辛いのは自分一人ではない」と思っていただけの輪が広がっている。 連携の標準化と質の評価方法の確立として、連携を担う人材の育成と職能の確立及び治療成績と療養の質の評価尺度が必要である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成24年度予定							
<p>在宅がん医療を進めるためにも、がん医療の標準化・均てん化に力を入れる。 がん地域連携クリティカルパスのアウトカムを精査し、地域完結型医療の体制を整える。 ドナベディアンモデルの考え方を導入し、指標や目的仮説の妥当性を検討し、系統的な評価指標を作る。</p>							予算額
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設5医師	9施設5医師	充実		継続		新規
事業の概要								
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。</p> <p>平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。</p>								
平成23年度実績								
<p>平成23年度は9施設5医師体制であったが、平成24年3月末に医師が1名退職したことに伴い、以後は当面、4医師体制での対応となる。</p> <p>平成23年度は、遊子診療所長が遊子・下波診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路・能登出張所を兼任管理している。</p> <p>前年度と比較して診療日程等に変更はないが、背景人口の減少に伴い、受診患者数は減少傾向にある。</p>								決算額
								実績値
								9施設4医師
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
<p>全国的に医師数が不足している中で、宇和島市においても市立吉田病院、市立津島病院が医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。募集条件(給与の増額など)を変更することは財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況である。</p> <p>平成23年度において、診療所の必要医師数は確保できているが、年度末の医師1名退職に伴い、以後当面の間、医師不足が見込まれる。勤務地の情報(地域、診療所、設備、行政等との連携)を広く周知するなど、継続して情報発信する必要があり、また、赴任後の診療所・医師へのサポートを含め、長期間安定して勤務できる体制を構築することも今後の課題の一つである。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成24年度予定								
								予算額
								目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。</p>							
平成23年度実績							
<p>平成23年度は、戸島診療所長の嘉島診療所兼任管理で、月曜日、水曜日及び金曜日の午前に運航を実施している。毎年度、定期的に年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行なっている。</p>							決算額
							5,098千円
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所はへき地・離島に設置してあるため、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動に民間交通機関が利用できないため、公用車・診療船による兼任管理を実施する必要がある。特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風災害時等の運行停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きなものがある。 現在は、下波(柿の浦)から出航し、戸島と嘉島の医師兼務の移送を行っているが、今後の医師の配置状況によっては、運航区間の変更が考えられる。そのため、診療所長との協力体制の確立と診療船の効率運用により、地域医療の安定的な提供に努める必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成24年度予定							
<p>現在のところ、診療所長の異動がないため、昨年度と同様に兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。 医師の異動により、診療日程の変更、兼任管理の変更を伴えば、適宜、実情に即して対応する。</p>							予算額
							5,855千円
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
病院と診療所の連携強化	保険健康課			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>							
平成23年度実績							
<p>診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を、診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。</p> <p>診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)</p>							決算額
							0千円
							実績値
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
<p>それぞれの事例により対応等は異なるが、</p> <p>離島においては、患者の移送手段が限定されてしまう。</p> <p>診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合がある。</p> <p>診療所医師不在時に患者への対応ができない場合がある。</p> <p>などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成24年度予定							
前年度と同様。							予算額
							0千円
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
病院と診療所の連携強化	病院局			充実		継続	新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化するとともに、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察・治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>							
平成23年度実績							
<p>「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介で入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。診療所を含むオープン病床の利用者数は345名、延在院患者数4,050名、来院回診数431回。</p> <p>診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)</p>							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>それぞれの事例により対応等は異なるが、</p> <p>離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。</p> <p>診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。</p> <p>診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。</p> <p>などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成24年度予定							
継続実施							予算額
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
ヘリポートの設置	病院局 (宇和島病院)	1施設 (搬送件数3件)	1施設	充実		継続		新規
事業の概要								
<p>災害拠点病院として、災害時等の緊急搬送ができるよう屋上ヘリポートを設置しており、発着回数等から推測して、飛行場外離着陸場の位置づけで運用している。設備的には、初めて着陸するパイロットにも見やすさと安心感を与えるため、見やすい角度に照明装置を設置し、上空から目につきやすいカラーリングを施すなど、安全面を考慮したものとなっている。また本体部分は、劣化を抑えるためアルミ化しており、コスト優先ではなく安全面を優先している。なお、運用によっては、離島や山岳地帯からの搬送等も可能であり、県防災航空事務所と連携して訓練等を行い、運航確認をしている。</p>								
平成23年度実績								
<p>救急搬送患者発生時のフローについて、宇和島消防本部、愛媛県防災航空隊と協議を行い確定した。</p> <p>搬送件数4件</p>							決算額	
							実績値	
							1施設 (搬送件数4件)	
							進捗状況	5
事業に対する評価・課題等								
<p>運用フローが決定し、患者搬送も行い、目標は達成したと思われる。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成24年度予定								
<p>災害時における運用形態についてマニュアルを再確認する。</p>							予算額	
							目標値	

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-